

## 日本で唯一現存するたたら製鉄工場「菅谷たたら」の文化財保存工事

Preserving Work on “SUGAYA TATARA” Cultural Assets, the Only Extant TATARA Ironworks in Japan

桑原 義晴<sup>\*1</sup>  
Yoshiharu Kuwabara

1.九州支店 菅谷たたら作業所

キーワード 文化財保存 たたら製鉄 山内 高殿

### 概 要

日本の製鉄文化の基底には自然の中で長く培われた製鉄技術の歴史と伝統がある。その中であって「菅谷たたら」は全国で唯一現存する「山内（さんない）」（たたら製鉄に従事していた人達の職場や居住地を総称する言葉）として重要有形民俗文化財に指定されている。

当工事は「山内」のうちの「高殿」（製鉄工場）、「元小屋」（鉄の管理、選別）、「米倉」の保存修理を行ったものである。

工事にあたり、各建物を素屋根（仮屋根）で覆い、解体を行うが、一般的な解体と異なり、伝統工法を熟知した大工により建物の部材は一本一本丁寧に解体され、腐朽部分のみ修繕し再度組み立てられる。

本稿では、6年間にわたり実施した「山内」の文化財保存修理工事のうち「高殿」について報告する。

### 成 果

- 解体時の調査に基づいて木部修理工事、左官工事の材料・工法を選定した。
- 文化財の保存修理工事における伝統工法を継承した。



図-1 復元後 高殿外観



図-2 復元後 内観